

博多「場」文化通信

博多ば日記

2017.Autumn No.13

発行：博多リバレイ

発行日：平成29年9月12日



HAKATA
DOUBLE FACE

博多リバレイ
HAKATA RIVERAIN

HAKATA Double Face

「よそもん」には手厳しい
博多のしきたりがここに残る
路地裏で今、彼らなりの
博多轟貞・博多らしさの解釈が花開いている。

そこにはある共通点があった！
ダブルフェイス、2つの顔だ。
同じ軸足でも、背中合わせの2つの表情。
そのコントラストを眺めると
やはり、ここにも自由気質の
「博多らしさ」が宿っていた。

タフで洒落な男の日常着。

緊張を遊ぶ、男の正装。

博多らしさ
孤高の存在、物語。



TIMEWORN CLOTHING 博多

福岡市博多区下呉服町6-23
営業時間 / 12:00~20:00
休 / 水曜

右) ブランドを象徴するアイテムが
デニム。最初の1本に選ぶ人も多い
DENIM LOT 174
33,480円
STUDS BELT 112
50,220円
ENGINEER BOOTS BLACK
145,800円

左) 1940年代のデザインを
細部まで再現した
MILITARY CHINO OLIVE
25,920円
GARRISON BELT BROWN
27,000円
U-TIP WORK SHOES BROWN
118,800円

年後も色褪せない普遍性。シンプルで深く、着る人の美学や世界観を浮き彫りにする手強さは気骨ある九州男児にこそ挑戦してほしい。心意気で着こなす価値がきっとある。

「MEWORN CLOTHING」。世界中にファンを持つこの東京発のウェアブランドが2015年、ロンドンに次ぐ発信拠点を構えたのが、守り継がれてきた歴史を礎に新たな活気に満ちるまち、博多だった。

店舗に選ばれたのは築50年以上の古いビル。整然と並べられたアイテム、そのベースは30年代から50年代のアメリカで確立されたミリタリー&ワークウェアだ。機能と規律が両立した官給品である軍隊の制服や、全身泥だらけになって働く私たちの作業を支えるタフな質感やディテールは、毅然とした男の姿を彷彿とさせる。旧きものの良さやバランスを損なわずに現代に合うように改良されたサイジングやパターンも秀逸、洋服好きにはたまらない。オンタイムとオフタイム、いずれのスタイルにも共通するのは100

博多らしき

多機能な

新スペース。



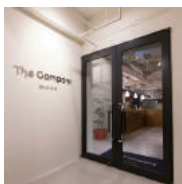
泊まる。

働く。



フロントにはスタッフが常駐、ロッカーも完備。メインフロアはコワーキングスペースのほかに、固定席、会議室、イベントスペースも併設。料金プランは下記HPにて。

*2017年12月には天神にも2号店をオープン予定

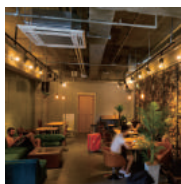


The Company

福岡市博多区祇園町 8-13
第一プリンスビル 1F・2F
☎092・710・7050
10:00～19:00(☎受付)
<http://thecompany.jp/>

食事が融合したホステルを立ち上げた。バー&ラウンジとサウンドスペースを1Fフロントに設え、カジュアルながら上質さを守る客室は快適な滞在時間を約束する。

一方、「The Company」は「新しいチームの作り方と大きな仕事づくり」を目指す新しいワークスペース&コミュニティ。単なるオフィスシェアではなく、独自開発のオリジナルSNSが、メンバー(利用者)同士をつなぎ、仕事をつくり、仲間を増やす。働き方を変革するために生まれた空間だ。時には、「THE LIFE」のカフェから「The Company」のワークイベントにケータリングも発生する。背中合わせに在るこんなダブルフェイスなら、博多はこれからもっと楽しくなる。



THE LIFE

福岡市博多区祇園町 8-13
☎092・292・1070
カフェバー 営業時間 / 8:30～25:00
休 / なし
<https://thelife-hostel.com/jp/>

ビルの谷間に息づく寺社仏閣：ビジネス街の裏路地に観光地の表情を見せる博多には、そんな2つの顔がそもそも共存していた。だから、こんな風になくさんの「掛け算」を可能にする、新しい価値の台頭にも十分納得がいく。泊まる×働くを基本ベースに、さまざまなコンテンツをパッケージングし提案するのは、「THE LIFE」と「The Company」の新たなチャースポット！隣り合わせの2つのスポットが、今、地元をフリーランスワーカーや、アジアを中心にしたツーリストたちが集うへまの拠点として注目を浴びている。

「THE LIFE」代表の安河内さんは、自身、バックパッカーとして世界を遊学した経験を生かし、旅×音楽×

1Fのカフェは飲食のみの利用も可能。客室は混合ドミトリー(4人・6人・10人・16人・18人仕様 / ~2,900円)。女性専用ドミトリー(~3,300円)、ファミリールームもあり！2Fには共用キッチンも。

アジアン・アートの開花。



来訪者へ。

建物内(ロビー側)から這い出す愛らしい白猫。客室はドミトリー(1ベッド3,240円〜)、2人部屋(1室8,640円〜)のほか4人部屋もあり。階上は1,500冊超の蔵書で旅の情報交流ができる利用者専用のラウンジ。

博多祇園山笠も走り抜ける「土居通り」に、突如現れた巨大な「猫」！アジアを代表する現代アーティストの一人・ヤノベケンジ氏が制作した、今夏オープン中のホステル「WeBase博多」のトレードマークだ。が、こうなるともう立派なパブリックアート！しかし、当館支配人の高木さんは「旅人とまちの守

り神」と、この『SHIP'S CAT(船乗り猫)』にもう一つ、役割を与えたことを教えてくれた。なぜなら、かつて航海時代の船中、食糧を守り、疫病を防ぎ、天候を読んで乗組員たちの佳き仲間として勇気と幸運を与えてきたのが守り神「SHIP'S CAT」だからである。アートとして。守り神として。ダブルフェイスでまちの新しい景色となった「猫」を、どうぞよろしく。



WeBase 博多
福岡市博多区店屋町5-9
☎092・292・2322
<http://we-base.jp/hakata/>

生活者へ。



カディコットロングTシャツ38,880円/国旗ポーチ(大)3,132円、(中)2,700円、(小)2,052円/ストール15,660円/イコジンポーチ4,212円/ツートンバッグ20,520円/無地刺し子トートバッグ18,360円/ウォレット(バックル付)39,960円/こわれかけのウォレット41,040円/配色バッグ59,400円

海外文化を貪欲に吸収してきた博多商人。そのDNAの継承を色濃く感じるのが「saranam」の商品だ。インドやタイ、そして日本に残る緻密な手工芸の技術を尊重し、新たな表現の可能性を探ったファッションアイテムは、ファストファッションの対極にあり。紡績から縫製まで手作業を貫いたインドのカディコットンシャツや、数多の運針が交差するタイの山岳民族が手掛けたパッチワーク……素朴な温もりを維持しつつモードやストリート寄りのテイストに仕上げるセンスはじつに希少。アジアの深層部とつながりながら生まれるジャパンクリエーションはアートの気概を纏い、都市生活者たちを刺激している。



サラナン
saranam
福岡市博多区
博多駅前3-30-5 2F
☎092・292・3922
営業時間/11:00~19:00
休/不定
<http://www.saranam.co.jp>

博多場のまつり



博多秋博

博多部周辺で開かれる秋のイベントを総称した「博多秋博」。灯明で名所・旧跡や街の通りが幻想的に照らし出される10月21日(土)の「博多灯明ウォッチング」や、寺社の建物や庭園が色彩豊かな光で演出される11月1日(水)～5日(日)の「博多ライトアップウォーク」など、10・11月を中心に40以上のイベントが開催される。



昨年の「博多ライトアップウォーク」(上)と「博多灯明ウォッチング」(右)の様子



博多秋博 2017

9月16日(土)～12月25日(月)

<http://hakata-akihaku.com/>

HERE IS ONLY ONE

薬草のちから。

「疲れやすい」「翌朝までお酒が残る」「最近、老けた様な気がする」…。漢方の世界で「未病」と呼ばれるこの状態を整えるには、体本来の力を整えるのが一番だという。「はくすい堂」はこの道40年の漢方専門店。中医学の知識を持ったスタッフが、顔色、声色、舌の色などをしっかり問診し、カウンセリングを行い、大きな病となる前に体の調子を整えるお手伝いをしてくれる。博多リパレイン店は「女性が気軽に相談できる店」がコンセプト。予約制でプライバシーに配慮し、ひとり一人の体質に合わせた相談をじっくり聞いてくれるとあって、仕事帰りのOLが多く通うというのも納得だ。



「ここだけにしかない漢方もたくさんあります」と、国際中医師の磯本ひとみさん(左)、店長の後藤智子さん(右)。



滋養強壯で身体いきいき！第2類医薬品のなめ薬「開豊瓊玉膏」(写真右)13,500円。元気の底力は「血液の元気」が要！薬用人参の王様「三七」を有機栽培。一等級品の「仙三七」は54,000円。



お二人のアンチエイジング度がスゴいのはこのおかげ？「婦人宝」は1か月分で5,400円

薬草の森はくすい堂

博多リパレイン店

福岡市博多区下川端町3-1 リパレインセンタービル1F

☎ 092-263-3512

営業時間 / 10:30～19:00

休 / 日祝日

<http://www.hakusuido.com/index.php>



 福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

☎ 092-263-1100

福岡市博多区下川端町3-1
リパレインセンタービル7-8F
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>



 博多座

☎ 092-263-5858

福岡市博多区下川端町2-1
<http://www.hakataza.co.jp>



Hotel Okura
FUKUOKA

☎ 092-262-1111

福岡市博多区下川端町3-2
<http://www.fuk.hotelokura.co.jp>



HAKATA RIVERAIN MALL
IN TAKASHIMAYA
博多リパレインモール

☎ 092-271-5050

福岡市博多区下川端町3-1
<http://www.hakata-riverainmall.jp>



博多リパレイン通り
商店街

福岡市博多区下川端町
<http://www.riverain.co.jp>

博多リパレイン
Hakata Riverain

<http://www.riverain.co.jp>

末長く、あなたのそばに。

◎9/15(金)～10/15(日)
『理由があるから』定番』フェア開催！



スツール202 (19,800円～29,000円)

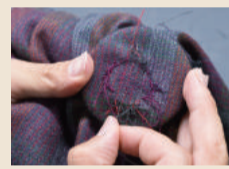
来年で販売60年を迎えるロングセラー。シンプルで機能的なデザインが人気の秘密。5脚までスタッキング可能な省スペース設計もポイント。
IDC大塚家具 福岡ショールーム(3F)
○問=☎092・281・4321

豆たん (5コ入/702円)

一口サイズのキャラメル最中に小豆入りのお餅を挟む新食感菓子。キャラメルとアーモンドの香ばしさが口いっぱいに広がるこだわりの逸品。
ぶどうのたね(1F) ○問=☎092・292・6380

オリジナル積み木カラー (17,280円)

オリジナルの日本製積み木。面取りを最小限に抑え正確な成形で、高く積んでも崩れにくい。子どもの手に合わせた4.5cmという絶妙なサイズ。
ポーネルドあそびのせかい(2F)
○問=☎092・260・1525



江見屋かけつぎ専門店(B2F)

○問=☎092・292・1838
○定休日=木曜

◎9/1(金)OPEN
かけつぎ専門店登場！

名古屋で昭和37年より営業を重ねる「かけつぎ」の専門店「江見屋かけつぎ専門店」が博多リパレインモールにオープンしました！
「かけつぎ」とは、服に空いた穴を塞ぐ修理のこと。熟練の技を駆使し、これまでに思いついた職人の店です。再生してきた職人の店です。タバコの焼け焦げや虫食いなどで傷ついた大切な服に再び、命を吹き込んでくれる頼もしい味方です。

◎営業=10:30～19:30(飲食店は店舗によって異なる) ○定休日=元日のみ
<http://www.hakata-riverainmall.jp> <https://www.facebook.com/hakatariverainmall>

HOTEL OKURA FUKUOKA

食で旅するヨーロッパ。



期間中、毎月新メニューが加わり、何度訪れても飽きさせない。
毎月のテーマスイーツの他に、定番のケーキやグラススイーツ、フレンチトーストも用意。ピッツァやパスタ、カレーなどの軽食も。

ヨーロッパ各国の料理が勢揃い！

「オールダイニングカメラ」の秋はヨーロッパ各国の味をお楽しみください。イギリスからは定番の「ローストビーフ」、南仏の「パイアベース」、スペインの「バエリャ」、仔牛のウイーン風カツレツ、「ノルウェーサーモンソテー」、「スウェーデン風ミートボール」など、広いヨーロッパを巡るようなラインナップでお待ちしています。また、毎月2日間限定の人氣企画「デザートブッフェ」にも注目です。9月は秋ならではの旬のフルーツを、少し寒くなった11月は濃厚なチョコレートもふんだんに使用。10月はもちろんハロウィン仕様で、お子さまから大人まで楽しめるので、ぜひご来店ください。

ディナーブッフェ「ヨーロッパフェア」

9/1(金)～11/30(木) 17:30～21:30 *120分制
大人4,500円、お子さま(4～12歳)2,250円
*プラス2,000円で飲み放題

デザートブッフェ

「秋のフルーツデザートブッフェ」9/26(火)・27(水)
「ハロウィンデザートブッフェ」10/24(火)・25(水)
「チョコレートデザートブッフェ」11/14(火)・15(水)
15:00～16:30 *90分制
大人3,000円、お子さま(4～12歳)1,500円

オールダイニング カメラ

○場所=ホテルオークラ福岡1F
○営業=6:00～22:00
○問=☎092・262・1176、☎0120・262・993
(レストラン予約課/10:00～20:00)



チーズフォンデュ 2人分3,500円(2人分)。120分の飲み放題とサラダやピッツァなどのついた「チーズフォンデュプラン」は120分5,000円。飲み放題メニューにはもちろんホテル醸造のクラフトビール「博多ドラフト」も。
「チーズフォンデュ」10/1(日)～3/31(土)
「デュンケルヴァイツェン」10/1(日)～なくなり次第終了

地ビール&ピッツァ オークラブルワリー

○場所=ホテルオークラ福岡B1F
○営業=17:00～22:30、11:30～14:30/17:00～21:30(土・日・祝日)
○定休日=月曜
○問=☎092・262・1176 (レストラン予約課/10:00～20:00)

*上記料金には、サービス料(10%)・消費税(8%)が含まれております。 <http://www.fuk.hotelokura.co.jp>

9月

坂東玉三郎×鼓童特別公演 『幽玄』

○9/2(土)・18(月)・祝
坂東玉三郎×鼓童
待望の再共演

当代随一の立女方との呼び声高い坂東玉三郎と、佐渡を中心にして活躍する太鼓芸能集団「鼓童」、お互いが出会い、17年の集大成となる新作です。

2006年に初共演した「アマテラス」では、圧倒的な世界観と創作美で観客を魅了。2013年の再々演では、博多座でも公演が行われ、全67公演完売という偉業を成し遂げました。

今回の再共演では、『幽玄』



をテーマに、世阿弥が見た世界を「羽衣」「道成寺」「石橋」などの代表演目を題材に表現。繊細な技術と豊かな表現力を兼ね備えた鼓童の響きと、妖しくも優雅な玉三郎の舞が、奥深く情感豊かな世界へと誘います。

11月

『夫婦漫才』

○11/6(月)・18(土)
人生山あり、オチあり
史上最強おもしろ夫婦

大阪の長屋でまるで兄妹のように育った信子(大地真央)と伸郎(中村梅雀)。器量よく美人に育った信子と、どうもパツとしない青年伸郎のコンビは長屋の人氣者だった。辛い戦争を経て、ついに夫婦になった二人だが、仕事もせずフラフラしている伸郎に信子はカンカン！毎晩、長屋には夫婦喧嘩の音が。しかし、その喧嘩が掛け合い漫才のよ

うで面白いと、ついに芸能プロダクションがスカウトにやってきました。
戦争、貧困、高度成長、テレビ黄金期、漫才ブームと昭和の激動の時代を、笑いで乗り越えていく夫婦の爆笑喜劇。俳優・豊川悦司原作、ラサール石井の演出でお届けします。



○休館日=公演により異なりますので下記HPよりご確認ください
○問=☎092・263・5555(10時～18時)
<http://www.hakataza.co.jp>

Hakata Riverain Event Schedule

東南アジアに魅せられて。

福岡市・ヤング市姉妹都市締結記念
ようこそ、ミャンマー美術へ！

昨年12月に、福岡市とミャンマーの旧首都ヤンゴン市は姉妹都市になりました。締結を記念し、本展ではミャンマー美術を広く紹介します。

英国領時代から、独立し主にビルマ連邦と称していた1989年までの間、そして軍事政権下での国名変更などと、複雑な歴史背景を持つミャンマー。王室を描いた英国領時代の洋風絵画や、輝く黄金のバゴダ(仏塔)に人々が集う、仏教国としての側面を表す作品、そして政治・社会問題を巧みに批評してきた現代美術作品など、約30点の作



サヤー・ボン(シュエダゴン・パゴダ) 1917年頃 福岡アジア美術館所蔵

品を通じ、20世紀初頭から今までのミャンマー美術の歩みを知ることができます。

○会期=8/31(木)～2018年1/9(火)
○場所=アジアギャラリー(7F)
○料金=一般2,000円(1,500円)、
高大学生1,500円(1,000円)、
中学生以下無料
*(内)は、団体料金

サンジャワー・東南アジアの現代美術展

1980年代から現在まで
サンジャワー、天気雨とも呼ばれるこの現象は、晴れているながら雨が降る不思議な空模様ですが、実は熱帯気候の東南アジアではよく見られることなのだとか。今こそめざましい経済発展を遂げ、世界から大きな注目が集まる東南アジアの現代アートの歩みは、サンジャワーさながら！

「発展」と「困難」が背中合わせのような道りでした。植民地から独立しても、内戦や、独裁政治などの困難を乗り越えて近代化・民主化を遂げたのですから。このように社会的・政治的にも大きな変化のうねりの中に立つ東南アジア。1980年代から現代までのアート(10か国)を、(情熱と革命)「ヘイデンティティ」(歴史との対話)など複数の視点からご覧いただけます。

○会期=11/3(金)～12/25(日)
○場所=企画ギャラリー(7F)
○料金=一般8,000円(6,000円)、高大学生5,000円(3,000円)、中学生以下無料
*(内)は、前売、団体料金



リュウ・クンユウ(マレーシア)《そびえ立つ街(「私の国への提案」シリーズより)》2009年、作家蔵

福岡アジア美術館

○開館時間=10:00～20:00(入室は19:30まで)
○休館日=水曜、12/26(火)～1/1(月)・祝
○問=☎092・263・1100
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>

博多座

組合せの妙、演じる粋。

九州ブランド、最前線。

九州・福岡ブランドの優れたデザインを取り扱う地域型セレクトショップが今春オープン。店内には九州各県の、お国自慢がズラリ！地元の食材を使った加工品等が、九州で活躍中のクリエイターの手によりデザイン性の高い「食品アイコン」として並ぶほか、感度抜群のキッチンウェアや雑貨もメイドイン九州がイン！店内奥にはカフェが併設され、ワークショップ等の体験をはじめ、パティシエ・「トコさん」の焼き菓子（ドリンクに＋340円でセットに）や、「KENさん」が営むケニア産コーヒー豆専門店「ケニアワールドコーヒー」のコーヒーも楽しめる。

モノ語り

ケータイアクセ、最前線。

今や現代人の必須ツールとなったケータイ。端末の進化と同時に、アクセサリや周辺機器の充実もファッショント同じく、個性の表現の域だ。今春オープンした「スカイプレミアム」は、ワイモバイル・SIMの契約をはじめ、スマートフォンケースやフィルム、その他周辺機器を多数取り扱う新形態のショップ。特筆すべきは世界に1つのオリジナルスマホケースづくりができること！お気に入りの写真やデザインを持参すると、約10分（*デザインによっては40分）ほどで、自分だけのオリジナルケースが出来上がるのだ。買い物の合間にオンリーワンを手に入れよう。



誕生日や家族の記念日、イベント等のプレゼントにもピッタリ！3,240円(税込)～



福岡市初?! スマホアクセサリの自動販売機。取り扱い商品は通常価格よりお買得!



SKY Premium

福岡市博多区下川端町3-1
博多リブレインモールB2F
☎092-272-2877
営業時間/10:30～19:30
休/元日のみ



スタッフのサポートにより、店内奥のスペースでオリジナルスマホケースをデザイン!



「福岡デザインアワード」で優秀賞を受賞した「二丈紅白米(鶏箱入り8,424円)」。赤米と白米を組み合わせ、博多水引や博多祝い箸など伝統工芸品のエッセンスで華を添え、贈答用に。



クレームブリュレやミニショコラ、ミニパウンドケーキ、季節のフルーツなどがワンプレートになった「焼き菓子セット」。多彩な味わいのコーヒーは450円～。



九州マルシェ

福岡市博多区下川端町3-1
博多リブレインモールB2F
☎092-272-0020
営業時間/10:30～19:30
(カフェ 11:00～17:00)
休/元日のみ



博多通り紀行

通りに刻まれた、博多の今昔物語。

御供所町―辻の堂通り

博多への入り口となる人の往来と物流の要衝

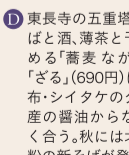
博多から大宰府政庁へ延びる官道には、江戸時代に「辻堂口門」と呼ばれる門が存在したという。これは北東側にある「石堂口門」と並び、博多への入り口となる主要な門の一つだった。近くの「辻の堂通り」には昭和54年まで路面電車が走り、現在も交通量が多い幹線道路として利用されている。

「博多千年門」をくぐると、歴史的文化財が多く残る寺社町エリアが広がる。秋には「博多千年門」や承天寺、東長寺、妙楽寺、円覚寺など、情緒ある寺社群をロマンチックに照らす「博多ライトアップウォーク」をはじめとするイベントが多数催される。ビジネス街でありながら、昔の博多長屋の面影を残した趣のある風景とともに魅力的な店を楽しめる。

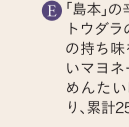
博多寺社町へのウエルカムゲート「博多千年門」。かつての「辻堂口門」に倣った中世博多の寺社様式で、門扉の板材には太宰府天満宮より寄贈された樹齢千年といわれる「千年榎」を用い、欄間には博多織の献上柄模様が刻まれている。



「イタリア料理×旬の食材×日本酒」をコンセプトにした「鎌田製作所」が1月にオープン。築約80年の町家をリノベーションした店内で、体に優しい無農薬野菜を使った「旬野菜のピザ」(972円)などが食べられる。



東長寺の五重塔を借景に、そばと酒、薄茶と干菓子が楽しめる「蕎麦なが田」。二八の「ざる」(690円)は、カツオ・昆布・シタケのダシと小豆島産の醤油からなるツユとよく合う。秋には北海道産そば粉の新そばが登場。



「島本」の辛子明太子は、北海道産スケトウダラの卵を焼酎に漬け込み、素材の持ち味を引き出している。「めんたいマヨネーズ」(378円)はガーリックめんたい味、わさびめんたい味もあり、累計25万本の大ヒット商品。

2月に博多駅南から移転してきた参加型の工房「FABLAB HAKATA」。3Dプリンターやレーザーカッター、デジタル刺繍ミシンなどのデジタル工作機械を使って、気軽にものづくりが楽しめる。要予約(☎050-3590-8991)。

